

文部科学省におけるがん対策関係予算について

「第3次対がん10か年総合戦略」

平成19年度予算案:202億円(平成18年度予算額:151億円)

戦略目標:我が国の死亡原因の第一位であるがんについて、研究、予防及び医療を総合的に推進することにより、がんの罹患率と死亡率の激減を目指す。

がんの本態解明

- ・科学研究費補助金(特定領域研究5領域)
- 学横断的な発想と先端科学技術の導入に基づくがんの本態解明の飛躍的推進(H19予算案:45億円)

トランスレーショナル・リサーチ

- ・革新的ながん治療法等の開発に向けた研究の推進
- 基礎研究の成果を積極的に予防・診断・治療等へ応用するトランスレーショナル・リサーチの推進(H19予算案:7億円)
- ・橋渡し研究支援推進プログラム*
- 有望な基礎研究の成果を創薬に繋げる等、イノベーションを創出するための橋渡し研究を支援する拠点を整備(H19予算案:15億円)

革新的ながん診断・治療法

- ・分子イメージング研究プログラム創薬プロセスの改革、疾患の診断技術等の開発を推進(H19予算案:14億円)
- ・重粒子線がん治療研究等(放医研)「重粒子線がん治療法」等の開発を推進(H19予算案:72億円)
- ・粒子線がん治療に係る人材育成プログラム*
専門知識等を有する人材をオン・ザ・ジョブ・トレーニング等で育成(H19予算案:0.4億円)
- ・国立大学法人運営費交付金等の確保
大学におけるがん治療研究等を推進(H19予算案:34億円)等

大学におけるがんに関する教育・診療

がんプロフェッショナル養成プラン*

がん医療の担い手となるがん専門医師及びがん
に特化した医療人の養成を行うための大学の取
組みを支援(H19予算案:14億円)

医学部教育における取組

「医学教育モデル・コア・カリキュラム」
に基づくがんに関する教育の実施

大学病院における取組

がんセンター等の横断的ながん治療等を行
う診療組織の設置等による診療の充実

*は平成19年度新規事業